

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校番号	33	東御清翔 高等学校	定 課程	普通 科
------	----	-----------	------	------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
誠実にして勤勉、謙虚にして明朗、平和を愛し、国家・地域社会の有為な形成者の育成を図る。	・創立精神を基に、他者と協働する活動を通して、お互いが尊敬しあい成長できる資質・能力を育成すること。 ・学校における諸活動をとおして、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと。 ・生徒自らが体験する活動の中で、生命を尊び、創造性を育てる資質・能力を育成すること。 ・すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、いじめは絶対に許さないという心を育てること。
重点目標	
1 日々の学習成果を実感できる授業の実践に努める。 2 いじめ・体罰のない、生徒にとって安心安全な環境を確立する。 3 基本的な生活習慣と、自ら学び、自ら行動できる力を育成する。 4 生徒の進路希望実現のための計画的進路指導を展開する。 5 地域との連携・交流と活力ある学校づくりを推進する。 6 生徒の危機管理意識を高め、健康の保持増進を図れる環境を整える。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	基本的な生活習慣を身につけ、落ち着いた生活のなかで自己管理能力や人間形成能力の向上を図る。自己理解、社会認識、職業理解を通して、自己のライフプランを描き、個々に応じた進路を模索する。	人間としての在り方生き方に関する教育を年間を通じて、特に学校に慣れる。通学できるということを通して行う。基本的な生活習慣の確立と自己管理能力を高める教育を行う。情報モラル学習などを行う。	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭 ○生徒会活動への参加	国語	言葉で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばして、心情を豊かにし、道徳の実践力を育む。
	2 年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○課題研究 ○各種職業体験活動 ○進路別科目選択	人間としての在り方生き方に関する教育を年間を通じて、特に修学旅行の中の平和教育を通して行う。	校内組織における中心的存在として主体的に行動し、目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営	地理歴史
3 年 4 年		社会の諸課題に対して主体的に解決しようとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	進路実現ができるようにする。その過程を通して社会における自己の役割を認識。自らの将来を切り開き、社会に貢献できる能力・態度を身につけさせる。行事の企画運営を通して課題解決能力の向上を図る。	人間としての在り方生き方に関する教育を、年間を通じて、特に高校卒業後の在り方について、生活の中の権利と責任、労働法教育などを通して行う。	本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動	公民
					数学	事象を数学的に考察し、数学的論拠に基づいて判断する態度を育む。
					理科	自然の事物・現象についての理解を深め、自然に対する畏敬の念を抱く心情を育む。
					保健体育	スポーツに親しみ、ルールやマナーを守り、チームの合意形成に貢献する態度を養う。
					芸術	芸術の幅広い活動を通して、芸術を愛好する心情を育てるとともに、豊かな情操を養う。
					外国語	諸外国の言語や文化に対する理解を深め、世界の中の日本人として自覚を養う。
					家庭	我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、家族への敬愛の念を深める。
					情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を身に付ける。
					総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組を通して、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・創立精神からも、校内の諸活動が地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で生徒が自己肯定感の醸成とともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。
-----------	--